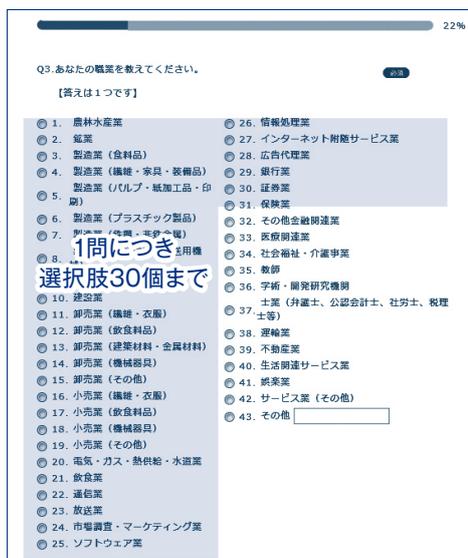


設問数のカウント方法

設問数は、設問形態や回答選択肢数により繰り上げカウントされる場合があります。

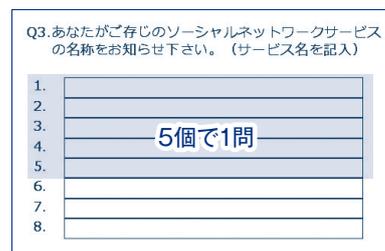
- 通常の見直しの場合、1問は選択肢30個までです。30個を超える場合は、30個ごとに1問として追加換算されます(図1)。
 - マトリックス型の選択肢の場合、1問は「タテの選択肢×ヨコの選択肢」が50個までです。50個を超える場合は、2問と換算し、50個ごとに追加換算されます(図2)。
 - 数値や単語の記述型の回答の場合、1問は回答BOX5個までです。5個ごとに1問として追加換算されます(図3)。
 - 自由記述型の回答の場合、1問は回答BOX1個までです。1個ごとに1問として追加換算されます。
 - 次のような場合は、アンケートの審査時に設計の見直しを依頼させていただくことがあります。
 - (1) 2問以上にカウントされるマトリックス型の1設問において、選択肢が多く回答者が選択しづらいと考えられる場合、または選択肢に複数のカテゴリが含まれる場合
 - (2) 自由記述型の回答BOX1個において、複数のテーマについて記述させる場合
 - 設問の見直しによる追加料金は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- ※ 応諾設問(設問に応じるか確認するための設問)の設定により、設問を追加いただく場合がございます。



(図1)



(図2)



(図3)

5個ごとに1問として追加換算

50個ごとに1問として追加換算